

2006年5月27日

RECARO FORMEL 3 CUP (ドイツF3) Round 7&8 in Nürburgring

練習走行レポート

5月26日(金) 1回目(09:00~10:30) / 10位(1:39.707) / 出走30台

2回目(11:50~13:20) / 11位(1:42.050) / 出走30台

昨日から降り続く雨により、冬に逆戻りしたかと思うような寒さの中、レカロF3カップ第4ラウンドの公式練習が、ここニュルブルクリンクのショートコースにおいて出走30台にて行われた。

先日のプレスリリースでもお伝えしたように、今回松村選手は、ニュルブルクリンク入りする前に、週末に行われる第7&8戦の予選決勝には参加せず、金曜日に3時間に渡って行われる公式練習にのみ参加する事を決定していた。そして使用するマシンをダラーF306から旧型マシンのダラーF304へスイッチする事も同時に決定していた。この決定により、所属するスイスレーシングチームも松村選手が使用していたF306をスウェーデン人ドライバーである、Max NILSSON選手が使用し、シーズン残りの全戦に参加する事を正式にアナウンスしていた。

午前9時、予定通りに1回目の公式練習が開始された。昨夜から降り続いた雨は一旦朝には止んだものの、走行開始時点ではドライタイヤを装着できるような路面状況でなく、松村選手もウェットタイヤを装着し、初めて走るニュルブルクリンクのコースへとマシンを導いていった。

開始直後は雨が止んでおり、ストレートを通るマシンからも殆ど水飛沫があがらない状況であった。そんな状況の中、序盤の松村選手はタイヤを暖めながら、初めて走るコースをじっくりとチェックしながら徐々にペースを上げていった。そして開始10分が経過した所で上空から雨がポツリポツリと降り始めてきた。その時点での松村選手は、1分39秒707のタイムで総合10位のポジションとなっていた。その後雨は強くなる一方でコース上の水の量も一気に増えていき、全体的に7~8秒程遅いラップタイムでの走行となっていた。そんな状況の中、松村選手は初めてドライブするダラーF304 / オペルのパッケージでの走行を果敢に続け、ウェット路面でのセッティングの変更も積極的に行っていた。雨が強くなったコンディションの中で、トップの車両は1分43秒後半のタイムをマークしていた。松村選手もセッティング変更の評価を繰り返しながら、1分45秒前半のタイムで周回を重ねていった。しかし残り時間15分を切ったところで、7コーナーのアクセルオンのタイミングでスピンしてしまい、そのままコースアウト。タイヤバリアーに軽く接触してしまった。そして再びコースに戻ることもなく、第1セッション終了となってしまった。結局雨が強くなったことにより、序盤のタイムを上回る車両はなく、松村選手の順位も10番手のままとなった。

午前11時50分、再び予定通りに第2セッションが開始された。第1セッションでタイヤバリアーに接触し、リヤウイング関係及びセンターディフューザーを破損した松村選手のマシンは、その修復作業と第1セッションで発生したトラクション不足の対策としてのリヤダンパーおよびスプリングの交換、そして車高調整作業に思いのほか時間を要し、約25分遅れてのコースインとなった。第2セッションは、開始からかなりの雨が降っており、各車とも完全なウェット状態での走行となった。25分遅れでコースインした松村選手も、完全なウェットセットアップを施したマシンにより慎重に周回を重ねて行き、徐々にペースを上げていった。しかし松村選手がコースインした辺りから、コース上ではグラベルに飛び出したり、コース上でストップしたりする車両による赤旗中断が頻繁に発生し、タイヤが暖まりきらないうちにピットインを余儀なくされる状況が続き、松村選手はなかなかタイムを上げる事が出来ず、14~15番手付近のタイムで走行を続けていた。そして残り30分を切った辺りでようやく赤旗の発生が少なくなり、各車タイヤが暖まってきた所でいっきにペースを上げていった。そして松村選手のタイヤも完全に暖まってきており、コントロールラインを通過する度に約0.5秒ずつタイムを縮めていき、終了間際に1分42秒050のタイムをマークし、最後の2周で1分41秒台あるいは、1分40秒台に入る勢いで走行していた。しかしその直後に再度トラブル車両による赤旗が提示され、そのまま公式練習が終

了となった。一時は7番手付近のタイムをマークしていた松村選手であったが、最終的には11番手となった。トップは今シーズン波にのっている#6Tung選手であった。

そして走行終了後チームオーナーのオスマー・ウェルティ氏とのミーティングの中で、「折角ここまで来たんだから、是非このまま予選・決勝と出場したらどうですか？チームとしても出来るだけの努力はしますから。」との誘いを受け、その後の話し合いで予算的な面もクリアーとなり、急遽予選・決勝へも参加する事が決まった。

使用するマシンは引き続き旧型車両のダラーラF304であるが、本日の走行データの解析から、新型車両に負けず劣らずの走りが出来ている事もわかり、前回同様ポイント獲得の可能性に大きな期待が持てる状況となった。明日は、第7戦の公式予選及び決勝レースが行われる。そして天気予報は<雨>となっている。

<走行後のドライバーコメント>

3時間弱走った事により、このコースを覚えることは出来ました。タイム的にはまだまだ良くなっていける自信はありますので、今日のデータを更にしっかりと解析し、明日の予選・決勝は前回に引き続き必ずポイントを獲得出来るよう頑張ります！応援してください。それから今回レースに参加できるとは思っていなかったのが、出れる事が決まって正直ビックリしています。折角レースをするからには旧型シャシだろうが初めてのサーキットだろうが全開でプッシュしていきます。ちなみに今回のレースで使用する僕のゼッケンは「56」に決まりました。